

誰もが安心
して暮らせ
る町づくり
をめざして

名北福祉会 広報誌

2019 10 Oct No.49

みんなの夢

2019年10月1日発行（年3回）

発行所／社会福祉法人名北福祉会

発行人／黒川 富子

〒462-0807 名古屋市北区御成通3-20-4 TEL:052-910-3066 FAX:912-5188 HP:<http://meihoku-fukushi.org/>

やた保育園異年齢
とんぼの部屋



じぶんの顔

なえしろ保育園 ふみちゃん

子どもたちの作品集



にじみ絵 第二めいほく保育園



スイカ

めいほく保育園
せらちゃん



西瓜の
はっぱ

めいほく
保育園
ゆいたくん

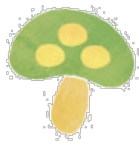


およいでいるところ

めだか保育園 そういちろうくん



海とくらげ くさのみ保育所



2019 年度法人事業・会計報告会



平和で、豊かな住みよい街づくりをすすめ福祉の充実をめざします。



2019年6月27日(木)
PM7:15からめいほく鳩岡の家ホールにて法人事業報告会を開催しました。

2018年度事業報告

第4次中長期計画(2017・6～2022・5)に基づきとりくんできました。

特徴的な点は、「めいほく保育園」、「やだ保育園」が新園舎

となり1歳児から5歳児の異年齢保育がはじまりました。また、障がい者グループホーム「めいほくホームあさひ」(定員男性5名、女性5名、シヨート2名)が新守山に完成し、自立して暮らせる場が増えました。

社会福祉法人改革により組織変更に伴う「法人組織強化」の推進、人材確保、人材育成の推進、法人財政健全化計画の実行、「みなみ町福祉の総合センター」実現にむけたとりくみをすすめてきました。

2019年度重点課題

引き続き、法人組織強化、人材確保、人材育成の推進、財政健全化推進にとりくみます。今年度も障がい者「グループホーム守山区町北」建設がはじまり、来年4月開所します。また、「みなみ町福祉総合センター」(特養、小規模多機能、地域交流センター) 実現にむけ応募していきます。

2019年度 法人役員

評議員	定数9名	同	寺西 明美	運営協議会委員
評議員	任期4年	同	光岡ゆかり	30名 任期2年
評議員	小川志寿恵	同	伊佐治尚美	評議員 9名
同	富田 哲朗	同	佐藤 悦弘	理事 8名
同	廣瀬 洋子	監事 2名	監事 2名	監事 2名
同	田中 耕治	任期2年	久田 浩一	水野 達彦
同	戸水 純江	監事	山田美重子	正次 正男
同	篠宮 雄二	同	牧野 茂子	真坂 一彦
同	塚本 正	評議員選任・解任	委員5名任期4年	菊田 道敏
同	横井 透	外部委員	佐尾 和彦	近藤 守平
理事	定数8名	同	木村 恵美	加藤 尚子
理事	任期2年	監事	山田美重子	山本 春菜
同	黒川 富子	同	牧野 茂子	小川 貴大
同	本田たみ代	事務局	橋本 琴江	長尾 忠昭
同	太田 輝美			深谷佐智子
同	小林 正巳			

2018年度決算について

(11P参照)

法人全体資産は、29億円、純資産は22億円となりました。自己資本比率は76・8%。比率が高いほど経営の安定性を表す数値です。新たな事業にとりくんでいる比率としては安定しています。

特徴点は、次年度の賞与引当金の計上をしたため人件費増になったこと、これまでは保育分野のみ運用が使途制限のもと弾力運用ができたことになり、障がい、高齢分野に運用しました。に努力してきました。

です。



子どもが育ちあう 保育と保育制度の 拡充をめざして



2018年度は、めいほく保育園とやだ保育園が新園舎になり、新しい環境で1歳〜5歳の異年齢保育を始めました。なえしる保育園も、2019年4月から2〜5歳の異年齢保育に移行するとして保護者の方とやり取りもしながら、準備をすすめてきました。各園異年齢保育になる中、子どもたちが生活の中での多様な関わりを通し、どの子どもも安心して自分の気持ちを出し、憧れ・憧れられ、

事業報告会に参加して

第二めいほく保育園 平石 章乃

地域とつながった取り組みや労働環境改善に向けて専門部が発足されたことにより、法人がよりパワーアップしていくのかなと感じました。

各分野では、しょうがい、保育分野できょうされん大会や合研など大きな取り組みもあるので力を合わせて頑張っていきたいと思いました。

高齢分野では、安全を配慮したうえで利用者同士の繋がりを大切にしていると感じ、どの分野にも通じることなのでわたし自身も大切にしていきたいと改めて感じることができました。

最後に、合研でみんなで踊る『yeah hope』を保育分野中心に踊ったり、合研をアピールしました。みんなで身体を動かしてリフレッシュできて良かったなと思いました。

育ちあっているように、各園で実践を深めていきたいところです。2019年度の10月から3歳クラス以上の保育料無償化と給食費の実費徴収が始まります。基準を満たさない無認可施設も無償化の対象になり、保育の質がおきざりにされています。保育士不足や処遇の低さが愛知保育労働実態調査で明らかになる中、各園で会議の時間内実施など改善に取り組みしました。しかし、根本は保育士の



配置や処遇の基準の改善なしにできません。8月のあいち合研をトップに公的保育制度の拡充の取り組みをすすめていきます。

仲間の生活を 支えていくために



ここ数年来、障害部では人材不足や「暮らしの場」が大きな課題となっていました。昨年度は障害部で二名の新卒者を採用することができました。また、「暮らしの場」についても昨年六月、新守山の地に総勢十名の方が入居できるグループホームを開所することができました。また、障害部で働く人達が長く働き続けられるための労働環境改善についても、昨年各事業所において改善の取り組みが始まっています。

被災地派遣の報告をしました

めいほく友の家 埜 佑哉

東日本大震災が発生して今年で8年。あいされんが地震発生当時から職員を派遣し、「忘れない」をテーマに被災地支援を10年継続していくことを決め、その支援も8年目となりました。今年、プレハブから新しくなった「のぞみ作業所」で仲間たちと交流、事務局の方々から当時のリアルな話を聞きました。その後は、宿泊先のホテルで親の会会長の話を聞き、夕食を食べながら愛知の職員や岩手、仙台の職員と交流しました。二日目は実際に被災した土地や建物の高野会館を見学、そして役所との懇談会を経て帰路へ。被災した時の大切なこと、苦労したこと、生々しい体験談、そこからの反省など貴重な話をたくさん聞かせていただきました。私は、その話を沢山の職員に語り、来たるべき災害に備えていきたいと思っています。

今年度は、三人の新卒者を障害部は採用することができました。さらに次年度、守山区町北に約十七名が入居できるグループホームを建設にむけ準備を進めていきます。来る10月25日(金)から26日(土)にかけて、きょうされん全国大会が愛知で開催されます。その成功に向けても大

く力を発揮できるようにしていきます。





地域の中で在宅生活を 支える事業所として



デイサービスは、小規模の良さを生かした、きめ細やかな実践を積み重ねてきました。運営的な厳しさはありますが経験のある職員に支えられています。

小規模多機能事業所はその方に合わせた柔軟な対応をしながら「自宅で暮らすこと」を支えています。運営的には安定していませんが、夜勤の職員不足が課題です。昨年度は正規職員を2名、今年度は新卒職員を1名採用できたことは大きな成果です。

地域での取り組みを大切にしています。町南地域では「まちなみまつり」、毎月の「地域のお茶

法人事業報告会に参加して

めいほく町南の家介護職員 関 優希

各分野報告は福祉の仕事に携わる者同士共感できるものであり、厳しい体制の中であっても利用者の為に努力、工夫している姿を法人内で共有する事により、分野の垣根を越え職員間に連帯感が生まれると感じました。法人からの報告では日々変化する福祉の情勢、人手不足といった問題に向き合いながら、専門部会に力を入れる等して問題を解決していこうとする姿勢が見られました。

法人の課題として特養建設に対し一部賛同が得られていない状態が続いていますが、法人職員が一体となり特養建設の必要性を真摯に訴えていく姿勢が求められているのではないのでしょうか。今回で2度目の参加となりましたが、参加人数の多さから改めて規模の大きい法人で働いていると実感しました。

会」、上飯田地域の「体操教室」、年2回「介護者の夜の交流」を開催しました。

「地域で最後まで暮らせる施設づくりにむけて」

昨年度から高齢部の「南町プロジェクト」として施設見学や図面検討、人材確保の計画、等について話を進めてきました。今年度、特養の公募があり協議書を提出しました。課題はありますが、法人の総意と力で成功させたいです。



もっともっと連携して 支援力を高めます



ケアプラン町南・相談支援センターくすのき・はおとか・ヘルパーステーションそらの三つの事業で地域生活部となって三年が経ちました。ケアプラン町南は、八名のケアマネージャーが守山・北区を中心に要支援・要介護の高齢者280名の方のご依頼を受け、24時間・365日を担当。同様に、相談支援センターはとおか・くすのきは、4名の相談員が北区を中心に障害児、障害者270名の方のご依頼を受け、ご相談お

よび障害福祉サービス計画作成を担当。また、ヘルパーステーションそらは、北・守山区を中心に、要支援・要介護の高齢者および障害児・者130名の方の居宅介護・家事援助・通院支援・余暇外出支援等を行っています。今年六月にこれまで以上に支援、連携強化していくため、二つの相談支援センターを合併し、「相談支援センターめいほく」とし、さらにヘルパーステーションそらの事業所を移転、新事業所内に相談支援事業と居宅訪問介護事業を同居させ再スタートしています。
2019・6月 事務所移転しました。



移転・合併のお知らせ

北区下飯田町二丁目14番地3
第六諏訪マンション 1階
ヘルパーステーションそら
TEL 052-910-0712
相談支援センターめいほく
TEL 052-911-1600

指・1本をつながる



私がいよいよ友の家に入職し、あつという間の10年でした。職員集団に支えられ、仲間に支えられ、家族に支えられ、関係者に支え

友の家ホーム 永田 真也

今年度は、ヘルパーステーションそらの坂野美里さん、めいほく保育園の田島貴代子さん、市橋久史さん、友の家ホームの永田真也さんの4名が勤続10周年で表彰されました。

勤続表彰

永年にわたる
名北福社会での
お働きに感謝
いたします



に直接援助する方法以外にも、方法、手段は、まだまだ、たくさんあり、大勢の人たちの協力、力添えが無ければ、援助を続けていくことの難しさも感じています。これからもたくさんの人たちの協力を得て仲間たちの生活を支えていくことになると思いますが、柔軟な思考で物事を進めて行けるように、聞くことを大切にしながら、勤務していきたくて考えています。勤続10年の表彰ありがとうございます。

続けてもらいながらの日々だったと感じています。経験を重ねていくにつれ、名北福社会が行っている事業を少しずつですが知ることで、仲間を援助する」といった具体的な

第51回 全国保育団体合同研究集会 in 愛知 8月3日～5日

46都道府県から7074人参加！

1日目オープニングは、「トーチトワリング」、「ぞうれ列車よはしれ」の合唱に合わせて子どもたちの列車が会場を走り、「ヤッホー」の総踊り。2日目は、講座や分科会。3日目閉会集会は、「子どもたちにとってあたりまえってなに？平和ってなに」の構成劇など。保育園訪問や実行委員や要員など合研成功にむけ、つくりあげる側になって大奮闘しました。



New
face

名北福祉会で働き始めて

町南の家 寺島 健太

名北福祉会の一員となって3か月が経ちました。緊張しながら電車に乗って、帰りの電車では上手いかなかった事や失敗してしまつたことを反省する毎日です。失敗してしまうと、どうすれば先輩職員のように出来るのだろうかかと悩んでいます。

学生時代に一度も福祉・介護の勉強をしたことがなく就職活動で



介護と出会い、さらに今までやったことのない事に足を踏み入れたこの業界を選びました。入職当時はとにかく利用者さんと話してその利用者さんがどういう人なのかを知るところから始めました。レク・体操や利用者さんへの関わり方は先輩職員を参考にしています。排泄介助・入浴介助と言った技術部分は徐々に慣れてきました。出来ると思える現場が楽しいと思えてきました。

もっと介護技術を磨き介護職員、また一人の社会人としても事業所の見本となるような存在になりたいです。

New
house

新しい暮らしの場での生活

めいほくホームあさひ
米本啓子さんのご家族、米本志のぶさんより



不安顔で入居した姉。あつという間に一年が過ぎ今ではとっても楽しそうです。

一番の変化は休日の過ごし方だと思います。一日中、自宅で過ごしていましたが、今ではいろんな所に連れて行っていただき外出できる楽しさや新しい発見があり、また常に誰かがいる安心感、話し相手のいる喜びを感じているようです。そんな姉を見て話を聞き私たちもその日常に安堵し、皆様に感謝しております。



異年齢
保育

異年齢のよさを感じられる保育を

なえしる保育園

全体研修報告

移行期間を経て、2019年4月より2〜5歳の異年齢保育がはじまりました。

びわ・かりん・やまもも・きんかんという、4つのおうち（部屋）ごとに、

日々の生活やあそびを通し、豊かな経験や関わりを重ねていけるよう、ゆつくりと保育を進めています。

春の頃は、新しい環境に不安で泣けてしまう子や前の担任を求めた姿、落ち着けず、ケンカやもめごとが多い大きい子の姿もありました。しかし、少しずつ2歳児に寄り添う4、5歳児の存在や、魅力的なあそびを目の前で見せてくれる大きい子の姿から、大人以外にも頼りになり、あこがれられる存在が身近にいる安心感、ありのままの姿をだせる心地よさを子どもたちが少しずつ感じ、年齢をこえた新たなつながりができてきて



います。保護者の方も、心配はありません。そんな関わりを暖かく見守ってくれています。これからも、異年齢のよさを感じられる保育をゆつくりと積み重ねていこうと思います。

法人全職員研修は七月七日、「誰もが住み慣れた町で安心して暮らすために」というテーマで開催

今回は、みなみ町福祉センターの建設に向けて、保育園と高齢者施設が併設している法人から、子どもと高齢者が一緒に生活する実践を学ぶことをねらいとしました。

保育園と高齢者施設が合築している施設を運営する大阪府こばと会グループホームたんぽぽのホーム長、21老副連の事務局長の正森克世さんに講師をお願いしました。

研修報告

ディサービス東町 櫻井英人

「子ども、障がいのある人、高齢者が安心して暮らせる住みよい街づくりをすすめていきます」名北福祉会の理念の1つですが、こばと会も名北福祉会と同じような理念を掲げています。

仕事をしていく過程で意見が食い違ったり、「何か違うな」とストレスになったりということはあり、そんな時に働くみんなが寄って立つ、それが「理念」であり「綱領」。株式会社や医療法人等と社会福祉法人では運営目的や理念も異なりますが、社会福祉法人が運営するこばと福祉会のように保育園の子どもたちとお年寄りが普段の生活の中で交流する様子がとてもよく、自分たちも取り組んでいきたいと思いました。

めいほく保育園

近藤恵美子

私が、めいほく保育園の給食室で働き初めて21年になります。保育園との出会いは、現在35歳になる息子が生後半年で障害があることが判明し、障害児の親になり、不安ばかりだった私を支え、親子共々育てて頂けた保育園への感謝の念が根底にあるように思います。名北福祉会の障害者と矯正できる街作りの思いが障害児児童保育所、作業所設立へと実現されて、異地域の期待がひとつひとつ着実に根付き、積み上がって行くのを間近で実感しています。

めいほく共同作業所

水内 基仁

めいほく共同作業所で働いて16年目になります。仲間から感謝される、仲間の役に立っている実感が持て、書類や形ではなく、人と人との関係やつながり、そして仕事や活動で仲間が喜ぶ姿を見て、長く働き続けることができている。これから、仲間の活動や暮らし



受けるため退職しようと思いましたが、給食室の仲間たちが復帰を望んで下さったので、長期のお休みを頂いた後、和氣あいといと楽しく子どもたちの明るい声に元気をもらいながら働いています。

の環境が整うと、

私たち職員の力が

がもつと発揮されると思います。



長い間
福祉会を支えて
くれているパートの
皆さん
ありがとう

第二めいほく保育園

櫻井 雅子

二十年以上前に私が担当した園児の娘さんが昨年度入園して来ました。月日が経つのは早いもので第二めいほく保育園で働くようになって約三十年になろうとしています。初めての頃は私も子育てをしながら、その後は両親の看病、介護へと生活環境が変化し

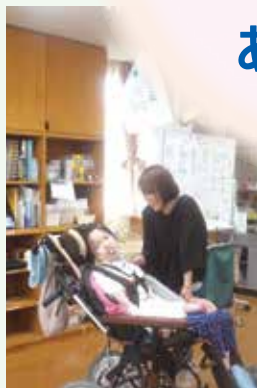
ていく中で、短い時間ですが、継続して働く事が出来大変助かりました。



〇歳児〜二歳児の保育園で家庭的かつ和やかな雰囲気職場なので今日まで働いてこれたのかと思います。又日々成長していく子どもたちを見守っていけるのも楽しみです。これまで関わって下さった皆さんに感謝します。

めいほく友の家

竹原 純子



「友の家」が（現）清須市に隣接する西区あし原町で、無認可として活動していた頃からお付き合いさせていただいております。

日々の忙しさや大変さはありますが、こんなに長く関わっていてもいまだに新しい発見があったり、「あ、今この方と確かに（心が）通じあったな」と感じられる瞬間がとても嬉しかったりして、この仕事を楽しんでいる感じが続き続けてきました。

これからも名北福祉会が、なかまの皆さんや職員さんたちに寄り添っていく福祉会であり続けられることを願っています。

社会福祉法人 名北福祉会 決算書

事業活動収支計算書 ～利益報告書～

(自) 平成30年4月1日 (至) 平成31年3月31日

(単位: 千円)

	本部会計	保育園	障害	高齢	地域生活	合計
【収入の部】						
就労支援事業収益	0	0	17,664	0	0	17,664
運営費・支援費・補助金収益	500	870,840	542,785	161,356	166,907	1,742,388
利用料収益	0	0	0	0	0	0
寄附金収益	5,238	77	91	131	0	5,536
雑収益・受取利息他	386	5,758	11,479	831	74	18,529
事業収益合計	6,124	876,675	572,019	162,318	166,981	1,784,116
固定資産受贈額	0	194	0	0	0	194
借入金補助金収益(元金・利息)	0	7,494	6,619	0	0	14,114
施設間繰入金収益	75,954	7,292	57,388	21,731	10,287	172,652
固定資産売却益	0	0	0	82	0	82
その他の特別収益	0	0	0	0	0	0
収益合計	82,078	891,655	636,026	184,132	177,268	1,971,159
【支出の部】						
就労支援事業費用	0	0	22,024	0	0	22,024
人件費支出	0	727,922	446,827	118,179	99,593	1,392,522
事務費支出	12,105	51,467	48,809	14,055	10,512	136,948
事業費支出	1,188	69,230	49,199	13,081	3,798	136,496
減価償却費	294	47,676	35,900	6,933	1,263	92,065
徴収不能額	0	0	166	364	0	530
国庫補助金等特別積立金取崩額	0	-25,782	-21,509	-2,804	-75	-50,170
支払利息	0	2,840	2,078	0	0	4,919
その他費用	0	589	7,466	716	123	8,895
事業支出合計	13,586	873,943	590,960	150,524	115,215	1,744,228
基本金組入額	0	0	0	0	0	0
国庫補助金等特別積立金取崩額	0	0	0	0	0	0
国庫補助金等特別積立金積立額	0	9,443	5,075	0	0	14,518
施設間繰入金支出	0	66,541	21,826	25,346	58,940	172,652
固定資産売却・処分損	5	615	30	26	0	675
その他の特別損失	0	0	0	0	0	0
支出合計	13,591	950,542	617,891	175,895	174,155	1,932,073
当期活動収支差額	68,488	-58,887	18,135	8,236	3,113	39,086
【繰越活動収支差額の部】						
前期繰越活動収支差額	252,912	285,722	208,048	58,338	51,821	856,842
積立金取崩額	0	0	0	0	0	0
積立金積立額	100,015	0	0	0	0	100,016
次期繰越活動収支差額	221,385	226,835	226,183	66,575	54,934	795,911

貸借対照表
平成31年3月31日現在

(単位 円)

現金預金	192,019,061	未払金	38,361,517
未収金	170,550,186	その他の流動負債	143,508,896
たな卸資産	6,337,554		
その他の流動資産	68,558,545		
流動資産合計	437,465,346	流動負債合計	181,870,413
基本財産土地	214,645,011	長期借入金	454,993,000
建物	1,514,816,426	退職給与引当金	79,444,280
法人内長期貸付金	3,375,581	法人内長期借入金	3,375,581
その他の固定資産	444,850,882	固定負債合計	537,812,861
積立預金	311,670,845	負債合計	719,683,274
退職給付引当資産	0		
固定資産合計	2,489,358,745	基本金	242,741,038
		国庫補助金等特別積立金	856,817,522
		その他の積立金	311,670,845
		次期繰越活動収支差額	795,911,412
		資本合計	2,207,140,817
資産合計	2,926,824,091	負債・資本合計	2,926,824,091

保育園も保育制度も、みんなで力をあわせて改善してきた

保育園に子どもを預けて働くことは、いまやあたりまえになっています。それは「ポストの勤労者保育制度」を念頭に、私たちの先輩たちが、子どものために力をあわせて保育運動をすすめてきた「結果」なのです。

私たちも、今とこれから子どもたちのために、声をあげましょう。この署名も、私たちの声を届ける運動の一つです。署名にご協力をお願いします。

よりよい保育を！実行委員会
連絡先：全国保育団体連絡会
〒142-0037 東京都目黒区目黒2-1-1 TEL:03-4363-1071
2019年度更新

保育園入所児童数 3,874,000人
保育所数 33,547箇所
保育園入所児童数の推移

保育の署名にご協力をお願いします

今年も、国会、県議会、市議会に向けての秋の署名運動がスタートしました。

保育制度が変わり、「子どもにとってこれでいいの?」と思う保育施設が沢山でき、そこで働く保育者も、生活する子どもたちも大変になっています。「無認可の認可化」(条件も基準も認可園とはかけ離れているのにそれを改善しようとはせず進めようとしている)がねらいとされています。そして、この10月から「幼児教育の無償化」が実施されます。「無償化より受け皿を!」「保育士の処遇や職員配置の改善での保育の質を向上を!」無償化ありきではない声を届けていきます。

お手数ですが、同封の封筒で返送下さい。

「わいわい子ども食堂」のご案内

毎月第1水曜日、17:00から19:00、
北医療生協すまいるハートビル2階
ワイワイルームで行っています。
参加対象は幼児から高校生
(付添いの大人の方歓迎)、
参加費は子ども0円・おとな300円です。
問い合わせ先:北医療生協(水野さん)
電話:052-914-4554

名北福祉会を支える会の会員募集

夢のある豊かなまちを共につくりましょう!!
「平和で豊かな住みよい街づくりをすすめ、福祉の充実をめざします」に賛同する人たちの力で、法人が進めている事業や「みんなの夢」をかなえるための施設づくりを応援しています。是非ご協力よろしくをお願いします。

ヘルパーさん募集 (ヘルパー2級・介護福祉士)

障がいを持つ人やお年寄りの生活を支える、やりがいのある仕事です。詳細はお問い合わせください。
時給 1,000円~1,750円 ※仕事の内容や時間帯によって違います。
交通費 850円/日(上限)
問合せ先 ヘルパーステーションそら
電話 052-910-0712 (担当) 岩橋・坂野

名北福祉会 第5回 介護職員初任者研修 【土日コース】受講生募集

介護や支援を必要とする人びとの生活の安定・安心、明日への希望に沿うために必要な基礎的知識と技術を習得する研修です。



募集要項

期間	令和1年 11月2日(土) ~ 令和2年 3月28日(土) 全22回 <small>※時間帯など詳細は、HPをご覧ください。</small>
研修会場	北区鳩岡町1-1-5
研修費用	30,000円(テキスト代、資料代を含む) ※キャッシュバック制度有ります。
定員	20名(先着順)
申込方法	裏面の受講申込書を記入の上、郵送、又は持参ください。 ・申込期間 令和1年 10月1日(火)~10月31日(木) ・申込み先 ヘルパーステーションそら 研修事務局 〒462-0865 北区下飯田町2丁目14番地3 第6階訪問マンション1F

●問い合わせ先 お気軽にお問い合わせください。
ヘルパーステーションそら 介護職員初任者研修事務局
平日 9:00~17:00 052-910-0712 担当/岩橋、大村
名北福祉会 検索

お助けクラブにご協力ください

手伝って欲しい方、手伝いしてもいいよという方、共に会員登録し助け合っています。詳細は福祉会本部にお問い合わせください。